

コード	名 称	区分	コード	名 称
事業名	507 健康づくり推進事業	会計	01	一般会計
		款	04	衛生費
		項	01	保健衛生費
		目	01	保健衛生総務費
基本 施策	01 10万市民の健康を維持する	細目	106	健康21推進事業
		細々目	02	健康づくり推進費
行革大綱の重点事項番号		7		
担当部署	コード	753000		担当者 氏名
	名称	青山支所住民福祉課		
			滝原 英子	連絡先
				52- 2280 (内線)

### 事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)	青山地域住民	※対象件数
成果(どうする)	健康づくりの指針となる「伊賀市健康21計画」に基づき、市民の健康づくり事業に取り組むとともに、食生活にかかる生活習慣の見直しと啓発に努める。運動や食生活などに関する正しい知識の習得と疾病予防・介護予防・健康増進に繋がる。	
根拠法令・要綱等		
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業 内容	8月8日健康フェスティバルを開催し、運動施設の無料開放と健康チェック・骨密度検診を実施した。健康づくり推進委員(健康の駅長)の事業活動支援や食生活改善推進協議会の活動支援については、健康講話等で支援を行った。	
社会情勢 の変化等		

#### 整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

#### 運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	千円
4 市内の 類似施設	

### 事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
			運動施設無料開放開催日数	回	目標 1 実績 1	目標 1 実績 1
伝達講習会開催日数	回	目標 8 実績 10	目標 8 実績 9	8	8	

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
				健康フェスティバル参加者数	参加者数によって本事業のPRの成否を確認できる。	人	目標 300 実績 272
伝達講習会参加延人数	食生活に関する知識の伝達状況を確認できる。	人	目標 300 実績 285	目標 300 実績 216	300	300	

投入コスト	H20 決算		H21 決算		H22 当初予算		H23 当初要求	
	(千円)		(千円)		(千円)		(千円)	
直接事業費計(A)	59		31					
Aの 財源 内訳								
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他	0		0		0		0	
一般財源	59		31		0		0	
事業投入人件費(B)	0.8人	5,760	0.8人	5,760	0.8人	5,760	0.8人	5,760
フルコスト(A)+(B)	5,819		5,791		5,760		5,760	

### 事務事業の評価(Check)

	判断の基準(該当項目に○をつけてください)	備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	
	個人の方だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第三者にも利益が及ぶ事業	
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	
有効 性	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	○
達成 度	民間のサービスだけでは市場全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	
	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
効率 性	財政状況を考慮し、事業を休止した場合、市民生活への影響が大きい事業	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高	
改善 策	サービス水準や対象を見直す余地がある。	
	当初設定した計画を 100% 実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無 無	
	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
昨年度 の取組 状況	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。	
	【事業名】	
	受益者負担を求められることができる事業である。	
今後の 方向性 (Action)	全体コストにおける負担構成は適正である。	
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	
	昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況	
	事業を継続、充実させるために、健康フェスティバルでは運動施設の無料開放とともに、住民の健康づくりへの関心を高め、より積極的に取り組んでいただくため、日頃の運動不足や健康度を知ることができるように、骨密度計測や血液サラサラ度などの簡易な検査の実施等新たな取り組みを検討する必要がある。	
事業の 方向性	【状況】 計画のとおり進んでいる	
	【詳細】	
	健康フェスティバルでは、運動施設の無料開放や健康チェック・骨密度検診を実施し事業の充実を図った。平成20年度と比較して、参加者数が減少しているのは、同時に実施していたがん検診等を21年度は別の日程で実施したことによるものと考えられる。	
	【理由】	
現時点 における 課題、 その他 に対する 改善策	市民の健康づくりへの関心を高め、健康の保持及び増進を図るために、事業は継続していく必要がある。支所単位に設立されている食生活改善推進協議会は市で一本化されたが、各協議会の活動も行われるので、必要に応じて支所管内での活動支援を行っていく。	
	健康フェスティバルの参加者の増加を図る。	
	運動施設の無料開放や健康チェック等を実施しているが、新たな取り組みを検討していく。	
	(いつまでに、何を、どうする)	